

<第3回多文化理解講座報告> “エチオピアってどんな国？～目から鱗のアフリカ体験～”

6月18日(土)に、一般社団法人エチオピア・アートクラブ代表理事の山本純子さんと副代表のダニエル・ニガトさんが講師として登壇しました。

前半は、山本さんよりエチオピアの基本概要をご紹介いただき、後半は、6つのテーマから参加者が気になるものを選び、山本さんとダニエルさんがそのテーマに沿ってクロストークする内容となりました。

この日は駐日エチオピア大使館の外交官であるタスファフン氏が視察に訪れ、冒頭で、エチオピアと世田谷区の友好を願うご挨拶をいただき、講座が始まりました。



エチオピアの地理から始まり、13月があるというなんとも不思議なエチオピア暦のお話、かの有名な冒険映画『インディ・ジョーンズ』にまつわる遺跡のお話、日本との意外な関係や『改善 KAIZEN』がエチオピアにも伝わっていることなどを、色鮮やかな写真とともに、ご紹介いただきました。

後半では、よりフランクに、リアルなエチオピアについてお話いただきました。

6つのテーマは『食』『祭り』『日本のエチオピアコミュニティ』『不思議な風景』『コーヒー』『音楽』。参加者が特に驚いたのは、エチオピア音楽と日本の民謡のメロディーにおける共通性でした。また、不思議な風景写真には自然と笑い声も起き、終始和やかで楽しい講座となりました。



ご来場のみなさま、ありがとうございました。